

三重県議会議員
青木けんじゅん
県政レポート
Vol.13

ともいき
共生
青木謙順先生ご存心
一生涯 筆を執る 青木けんじゅん
歳はしるも 志はあきらまじ



編集・発行 責任者 青木謙順
住所 三重県津市白山町川口2044
TEL&FAX 059-262-6123(事務所)
E-mail:aoki@kenjun.jp

題字は日台友好三重県議会議員連盟訪台時に三重市にて揮毫頂いたもの

平成22年度当初予算
主な要求状況(概要)

教育委員会関係

- ・(新)小学校における学力定着調査研究事業 約8,000万円
- ・(新)高等学校における外国人生徒教育支援事業 約1,085万円
- ・(新)発達障がい指導・支援充実事業 約643万円

警察関係

- ・信号機設置(40基) 約2億円

今年はいよいよ今期最終年度の集大成の年となりますが、早いもので、皆様のご支援により県議会にお送りいただいたてから八年目を迎えます。

昨年五月には、教育警察常任委員長を拝命して、数々の課題に取り組みてまいりました。お蔭様で、各委員や執行部をはじめ皆様のご協力により、十二月に県当局から出されました「平成二十二年当初予算要求状況」は、たいへん前向きなものとなりました。

この一年も、「ともいき」の心を大切に、皆様と一緒に歩んできてまいります。今後ともご指導、ご助言をよろしくお願い致します。

ごあいさつ



三重県議会議員
青木けんじゅん

予算決算常任委員会における
教育警察分科会委員長報告(抜粋)

*この報告は平成21年12月16日県当局(県教委・県警等)同席のもと、報告したものです。

「平成二十二年当初予算要求状況」について、教育委員会関係では、限られた予算のなか、小学校における学力定着調査研究事業や高等学校における外国人生徒教育充実支援事業、発達障がい指導・支援充実事業など、これまでの当委員会での議論を踏まえ、課題の解決に向けた意欲的な予算要求がなされています。

今後は、これらの予算の確保に努め、効果ある事業とされるよう要望します。

警察本部関係では、これまで、当委員会

強く要望して
おりました信
号機設置につ
いて、当初の
計画以上の積
極的な予算要
求がなされて
おり、今後は
予算確保に努
めるとともに、
必要な箇所へ
の増設に努力
されるよう要
望します。

委員長
青木謙順



教育警察常任委員会

青木謙順が一般質問します!
ぜひ、傍聴ください。

平成22年第1回定例会(2月16日~6月30日)

- 二月**
 - 十六日：開会(議案上程)・議案聴取会
 - 十七日：議案聴取会
 - 二十二日：代表質問
- 三月**
 - 二十四・二十六日：一般質問
 - 二・四日：一般質問
 - 三日：追加議案上程
 - 八日：質疑
 - 九日：予算決算常任委員会(総括質疑)
 - 十八日：常任委員会・分科会
 - 二十三日：採決
 - 二十九日：追加議案上程・採決
 - 十七日：役員改選
- 五月**
 - 二十四・二十七日：常任委員会(所管説明)
 - 一日：特別委員会(年間計画)
 - 七日：議案上程
 - 十四日：一般質問
 - 十六日：一般質問・質疑
 - 十八・二十一：常任委員会・分科会
 - 二十三日：議案上程
 - 二十八日：予算決算常任委員会(採決)
 - 三十日：閉会(採決)
- 六月**
 - 三日：追加議案上程

三重テレビ生放送の予定
(33チャンネル)
代表質問、一般質問及び
予算決算常任委員会総括
質疑など

けんじゅん
青木謙順 Kenjun Aoki

プロフィール

平成22年1月現在

- 1957年(S32)2月18日 津市白山町に生まれる。
県立津高等学校卒業(S50.3) 三重大学教育学部卒業(S54.3)
新任教員としてスタート。(22歳)
小学校9年・中学校11年、合計20年間、公立学校に勤務する。
- 1999年(H11)4月 白山町議会議員に当選。(42歳)
- 2003年(H15)4月 一志郡選挙区(定数2)において三重県議会議員に初当選。(46歳)
- 2007年(H19)4月 新しい津市選挙区(定数7)において三重県議会議員に連続当選。(50歳)

三重県議会による現在の役職

- 2009年(H21)
 - 5月 教育警察常任委員会委員長
 - 予算決算常任委員会委員
 - 地域雇用対策調査特別委員会委員
 - 12月 会期等の見直し検証検討プロジェクト会議委員



青木けんじゅん

議員活動 (平成21年後半編)

平成21年予算決算常任委員会総括質疑(抜粋) (H. 21. 10. 30)



台風等に関する防災対策について

去る10月8日には、非常に勢力の強い台風18号が東海地方を襲いました。防災危機管理部の報告によると、負傷された方が3名おられますが、家屋については半壊や床上・床下などで、約400棟が被害を受けられたとのこと。このほか、公共施設や農林水産業において大きな被害が出ています。防災危機管理部として、平成20年度は台風に関する防災対策としてどういった効果をねらい、具体的にどんな取組を行ったのかをお伺いしたい。



東地防災危機管理部長

防災危機管理部の防災関連事業は、台風等の風水害対策や地震対策を含めた自然災害全般に対応する防災対策として取り組んでおります。このため、平成20年度においても台風等の風水害を含めた自然災害全般への対策として事業を執行したところであります。具体的な主な事業としては、発生時の地震対策だけでなく、台風などの風水害を含めた自然災害全般に対する防災対策が重要なことから、三重県防災対策推進条例を制定し、3月に施行いたしました。今後とも市町と連携して風水害対策・地震対策を総合的に推進し、防災に強い地域社会を実現していきたいと考えております。

JR名松線の早期復旧について

昨日(10月29日)、JR東海が記者会見を行い、今回の台風で一部不通となっていた名松線の今後の輸送体制について、家城・伊勢奥津間を鉄道からバス輸送に切りかえることを関係自治体に提案していくことが発表されました。地元自治連合会の美杉支部の代表の方が急遽、会合を持たれ、翌朝、JR東海の三重支店に名松線早期復旧工事の要望書を手渡されました。



豊かな自然の中を走るJR名松線

地域住民にとっては、名松線は非常に大切な足で、将来どうなっていくのかと大変不安に思っています。特に、お年寄りや学生など弱者といった方々に大きなしわ寄せがいき、地域の存続にもかかわる問題に発展するおそれもあります。県においても、この地域交通の確保に向けて、関係市とも連携しながら問題の解決に取り組まなければならないと考えますが、如何ですか？

野呂知事

被害状況等を写真で少し拝見をいたしましたところですが、JRは、回復しても安全・安心というものが確保できないし、少しの雨でまた災害が起こる可能性があるというようなことで、幸い道路が非常に整備されておるので、そちらの方が安全・安心だということでもあります。県としては、そういうことを受けまして、JRの調査結果も踏まえながら、是非担当部局においても状況をきちんと把握に努めてまいりたいと思います。それから、もし仮に提案のような形で鉄道からバスにかえられるということになりましたら、地域住民の方々への影響等は大きいことから、直接津市と協議しながら、その対応について考えてまいりたいと考えております。

緊急性の高い歩道整備の取組について

県民の要望が強い歩道整備等の緊急性はどのように判断されているのか、おたずねしたい。



北川県土整備部長

平成21年度の歩道等の整備箇所は、前年度からの整備計画も確認し、県民のご要望にお応えするよう努力をしております。特に、通行量と危険の状況を的確に把握し、迅速に対応することが大切であると考えております。

薬物乱用防止及び社会復帰支援対策について

最近、有名タレントの覚醒剤使用が大きな社会問題となっている。このことに関わってお伺いしたい。

- 1点目は、薬物乱用防止の予防対策について。
- 2点目は、薬物依存症となってしまった人々への社会復帰支援対策について、三重ダルクのような社会復帰支援に取り組まれているNPO法人等に対する支援について。
- 3点目は、医療分野における薬物依存症に対する取組について。特に県内における医療環境は？

堀木健康福祉部長

まず、予防対策についてであります。全体的な形としては、県と警察、それから国の機関の海上保安庁、保護観察所など、関係機関で構成されます三重県薬物乱用対策推進本部を設け、年間の推進計画を作って、取組をすすめております。具体的な予防対策、啓発では青少年対策が中心となっております。実際、初めて薬物乱用に入るのが15歳から19歳、もしくは20歳から24歳の方が半分以上を占めています。やはり若い方、特に青少年に対して、その段階で手を染めてしまうと回復が難しいということから、青少年の薬物乱用防止ということで、取組をすすめております。2点目の薬物依存症の方への社会復帰支援については、国の方でもそれぞれ保護観察を行っておりますが、県としては、まず三重こころの健康センターが社会復帰を望まれる当事者もしくはその家族の方から相談に応じるような形で、家族教室などを開催しております。加えて、警察・医療機関、ダルク等の民間団体を含めて、それぞれ緊密に連携し取り組んでまいります。3点目の医療分野に対する取組ですが、県内に精神保健指定医が約100名おります。ほかに精神科病院が18、それから診療所とかが61ありますが、実際に薬物依存を受け入れている病院はやはり限られております。県は、こころの医療センターが、これまでのアルコール依存症に対する対策の実績もあるので、その経験を生かした取組をすすめております。

お気軽にどうぞ...

地域の皆さまの声を 県政に反映します



● 青木けんじゅん事務所 津市白山町川口2044
TEL/FAX 059-262-6123 E-mail: aoki@kenjun.jp

三重県議会議員
青木けんじゅん
共生する心で夢のある 未来が開ける三重県
歴史・文化
自然との共生
教育
社会福祉の整備
個性ある地域の共生
活力あるまちづくり
地域コミュニティ
広聴・広報活動
年齢・性別を超えた共生
おたずねの窓口
おたずねの窓口
おたずねの窓口

県政・県議会および本レポート に対してのご質問やご意見をお待ちしております。

三重県議会議員
青木けんじゅん
ホームページアドレス
<http://www.kenjun.jp/>